

2014年12月22日

各 位

会 社 名 東京センチュリーリース株式会社
 代表者名 代表取締役社長 浅田 俊一
 (コード番号 8439 東証第1部)
 問合せ先 広報 I R 室長 松原 健志
 TEL : 03-5209-6710

会 社 名 京 セ ラ 株 式 会 社
 代表者名 代表取締役社長 山口 悟郎
 (コード番号 6971 東証第1部)
 問合せ先 広報室
 本社 TEL: 075-604-3514 (直通)
 東京 TEL: 03-6364-5503 (直通)

世界最大^{※1} 千葉県山倉ダムにおける水上設置型メガソーラー発電事業について

東京センチュリーリース株式会社（本社：東京都千代田区、社長：浅田俊一、以下「TCL」）と京セラ株式会社（本社：京都府京都市、社長：山口悟郎、以下「京セラ」）が共同出資する京セラ TCL ソーラー合同会社（以下「京セラ TCL ソーラー」）は、このたび千葉県企業庁が管理する工業用水道専用山倉ダム（千葉県市原市）において、水上設置型としては世界最大^{※1}となる約 13.4MW のメガソーラー発電事業に取り組むこととしましたのでお知らせいたします。



山倉ダム(千葉県市原市)

【山倉ダムにおける水上設置型メガソーラー発電所の概要】

所在地	千葉県市原市山倉地先「山倉ダム」
事業主	京セラ TCL ソーラー合同会社
出力規模	約 13.4MW
太陽電池設置枚数	京セラ製太陽電池モジュール合計約 50,000 枚
年間予想発電量	合計約 15,635MWh の見込み (一般家庭約 4,700 世帯分 ^{※2} の年間電力消費量に相当)
売電先	東京電力株式会社(予定)

千葉県企業庁では、本年 10 月より環境負荷の軽減などを目的に、山倉ダムの水面において、水上設置型太陽光発電システムを設置・運営する事業者の公募をおこなっていました。これに京セラ TCL ソーラーが応募し、このたび事業候補者として採択されました。今後、東京電力など関係者と協議の上、2016 年 3 月の稼働を目指します。

本発電事業では、山倉ダムの水面約 180,000 m²を使用し、京セラ製太陽電池モジュール約 50,000 枚を設置する計画です。年間発電量は約 15,635MWh となる見込みで、一般家庭約 4,700 世帯分^{※2}の年間電力消費量に相当し、また年間約 7,800t^{※3}の CO2 削減に貢献する予定です。

事業スキームについては従来どおり、京セラ TCL ソーラーが事業運営をおこない、TCL は発電設備に対するリース・ファイナンスを提供します。京セラグループは、発電所の設計・施工を京セラコミュニケーションシステム株式会社、太陽電池モジュールと周辺機器の供給および維持管理を株式会社京セラソーラーコーポレーションが担当します。水上架台（水上に太陽電池モジュールを設置するための浮体構造物）については、現在、兵庫県のため池において京セラ TCL ソーラーが建設中の水上設置型メガソーラー発電所と同様に、シエル・テール製（本社：フランス）のものを使用します。

また、本発電所の建設・維持管理にあたっては地元企業の協力を得るとともに、発電所近隣に環境学習施設を整備し、近隣小学校の子どもたちに向けて環境学習の実施を予定するなど、地域の発展に貢献できるものと考えております。

TCL と京セラは本事業を通じ、再生可能エネルギーの普及を促進するとともに、地球環境保全ならびに循環型社会の形成に貢献してまいります。

【水上設置型メガソーラーの設置イメージ】



以上

※1 水上設置型太陽光発電所において（2014 年 12 月 22 日時点）

※2 1 世帯当り 3,313 キロワット時／年で算出 出典：電気事業連合会（2012 年度）

※3 一般社団法人太陽光発電協会「表示に関する業界自主ルール（平成 24 年度）」に基づいて算出